きらり！ 日野郡の農林業

地方には高齢化や人口減少の波が押し寄せており、日野郡も例外ではありません。そのような中、郡内では、地域や農林業の維持に向けた話し合いが進められ、良食味米やトマト、白ネギ、ピーマン、原木シイタケ、間伐材の生産、和牛繁殖、JAの朝どれ野菜や直売所への出荷、農林業研修制度など、実に多様な農林業者が地域の特色を活かした取り組みをすすめており、中山間地域のモデルとして注目されています。

令和元年を振り返り、特徴的な取り組みについて一部を紹介します。

米 高橋さん（日南町）最優秀賞！ ～日野川源流米コンテスト

最優秀賞 高橋さんに表彰状授与　写真：鳥取西部農協提供

「日野川源流米コンテスト（主催：日野郡産米改良協会）」は、今年で17回目を迎え、旧日野郡で栽培されたお米が、148点出品されました。田植時期や肥料、水管理などに気を配り、いずれも農家の皆さんの自慢のお米です。

コンテストでは、食味計や穀粒判別器などによる1次審査を通過した4点の中から、農と食のフェスタ（10月20日開催 米子コンベンションセンター）の来場者200名の実食と投票により、日南町の高橋秀紀（たかはしひでのり）さんのコシヒカリが最優秀賞（知事賞）に選ばれました。

こうしたイベント等を通じて、日野郡産米の「食味」の高さは知られるようになりましたが、近年増えてきた高温等の気象変動に強く、安定した収量や品質（粒の太りがよく病虫害のない米）を確保することも重要になっています。

今年は、コンテスト申込用紙に収量記載欄を設けました。日野郡産米改良協会では、その結果を整理し、今後は収量向上などについても取り組んでいく予定です。

第17回 コンテスト上位入賞者のみなさん

賞	氏名	（町）
最優秀賞	高橋 秀紀	（日南町）
優秀賞	日南町海藻米研究会 三上 惇二	（日南町）
〃	上谷 修	（日野町）
〃	一二三 裕一	（江府町）

牛 日野郡の和牛奮闘！ ～鳥取県畜産共進会～

令和元年度鳥取県畜産共進会が10月5日（土）、鳥取県中央家畜市場で開催されました。地区予選を勝ち抜いた46頭が出品され、和牛改良の成果を競い合いました。日野郡内の主な成績は表のとおりです。

連産牛表彰は、10産以上で、繁殖性が特に優れた雌牛を表彰するものであり、生産者の細やかな飼養管理の賜物といえます。本年度の表彰は、県下でもわずか4頭でした。

また、三森さんは、西部酪農同志会会長等々を歴任され、西部地区の酪農振興に大きく貢献されたことが表彰につながりました。

梅林氏とまつり号

【和種々牛の部】

出品区	賞	出品牛	生産者（町）
若雌1区	優等賞7席	まつり号	梅林 征人（日野町）
若雌2区	一等賞1席	ふくはつえ号	中田 誠（日南町）

【表彰】

賞	出品牛	生産者（町）
連産牛表彰	ももか号・たえ号	山形 美智也（日南町）
酪農功労者表彰	-	三森 一夫（日南町）

梨 日野郡産「新甘泉」、好成績で終了！

奥大山農業公社（江府町）は、平成26年から江尾地内で13アールの梨栽培を開始し、今年は着果2年目を迎えました。公社職員の熱心な管理により、生育、着果とも良好で、他産地の生産者からも高い評価を受けました。今年は、玉太りも良く、目標を大きく上回る2.3トン（5，368玉）を出荷しました。

また、8月31日、町民を対象に初めて開催した「収穫体験」では、20名以上の参加がありました。栽培してみたいという声もあり、「新甘泉」の注目度は年々高まっています。

収穫体験の様子
果樹担当 杉嶋副主幹の概要説明
「作業しやすい、ジョイント方式の仕立です」

【新甘泉の特長】
- 鳥取県の育成した赤ナシ系の新品種
- 糖度が高く、13～14度
- 果肉は青梨のようなシャリシャリした食感

農林水産業者・緑化功労者 表彰

表彰された日野郡の方々を紹介します。

鳥取県優秀経営農林水産業者等表彰 ～日野郡から2名～

10月7日、令和元年度表彰式典が知事公邸で行われ、6部門38経営体・組織が表彰されました。

農林水産業功労者

上谷 春（うえたに はじめ）氏（日野町久住）

原木椎茸栽培を約40年間続け、現在は鳥取県西部地域の椎茸栽培のリーダーとして業界をけん引しています。

周囲の生産者と協力し原木の調達確保を行うなど、生産者間の連携強化を図りながら、椎茸栽培を継続できる環境づくりに取り組みました。

培った経験と技術を次の世代にも広く伝えるため、ほだ場管理や作業等を若手生産者に公開するなど、生産者の育成にも尽力しました。

未来を担う青年農林水産業者

山本 昌樹（やまもと まさき）氏（日南町神福）

平成26年にUターン就農。2年間の親元研修を経て実家の経営を継承し、平成29年12月に農業法人代表に就任しました。

経営継承前より規模拡大し、鳥取県特別栽培農産物の認証を受け、こだわりのコシヒカリを生産しています。現在、さらなる規模拡大と経営の効率化を目指し、機械・設備導入等を計画中です。

また、高齢化の進む地域農業の若き担い手として期待され、農地の受け皿として利用集積を進めているところです。

中国・四国地区 緑化功労者表彰 江府町立 江府小学校が表彰されました

表彰を受けた江府小代表児童と白石江府町長

この表彰は、中国・四国地区で緑化推進に功績があった個人・団体を表彰するもので、今年度は5名の個人と3団体が表彰されました。

江府小学校では、江府町の森林を大切に守り育てようと、10年前から、4～6年生の児童が、総合的な学習の中で「ブナの採種・播種・育苗・植樹」を行う「ブナの実プロジェクト」に取り組んでいます。森林を再生する活動であるプロジェクトを通じて、郷土の豊かな自然や森林と水との関係を学ぶと同時に、郷土を愛する気持ちが育まれています。

今回の表彰は、日野郡からは団体として初めての表彰で、11月9日江府町長から江府小学校へ表彰状が伝達されました。

蜜蜂を飼育される方へ お知らせ

蜜蜂を飼育される方は、毎年1月31日までにその年の「蜜蜂飼育届（1月1日～12月31日の飼育計画）」を県に提出をお願いします。

これは養蜂振興法の規定によるもので、趣味の養蜂も対象となっています。提出先は、日野郡にお住まいの方は日野振興センターです。所定の様式、手続き等についてご不明な点がありましたら、下記の問合せ先にご連絡ください。

問日野振興局 農林業振興課　電話：0859-72-2004　FAX：0859-72-2011
問日野振興局 日野農業改良普及所　電話：0859-72-2024　FAX：0859-72-2090